



NAGASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL 96
2017.9

第9回 ～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会



2017年6月17日(土) 於: 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館交流ラウンジ

Contents

●事業報告

- ・第9回～語り合おう in Nagasaki～
外国人による日本語弁論大会
最優秀賞作品、第2位作品ほかの紹介…………… 2～3
- ・2017グローバルギャザリング釜山「百花繚乱」…………… 4
- ・2017年度釜山－日本姉妹友好都市大学生
インターンシップ交流事業…………… 4～5
- ・釜山のテコンドーチームが「2017ながさきみなとまつり」
に出演…………… 5
- ・学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！…………… 6

●これから開催されるイベントのお知らせ

- ・第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル…………… 6

●JICAデスク長崎からのお知らせ…………… 7

●協会からのお知らせ

- ・第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル
当日ボランティア募集中！…………… 8

●協会から助成についてのお知らせ…………… 8

私たちは賛助会員として協会を応援しています

- | | |
|--------------|------------------|
| ・安達株式会社 | ・株式会社プロジェクトエム |
| ・ヤナセ産業株式会社 | ・佐世保厦门市青少年交流協会 |
| ・学校法人第二岩永学園 | ・長崎空港ビルディング株式会社 |
| ・こころ美健福祉専門学校 | ・扇精光ホールディングス株式会社 |



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

http://www.nia.or.jp

事業報告

第9回～語り合おう in Nagasaki～外国人による日本語弁論大会

最優秀賞「日中の平和を築く石になる」^{テイ セツヘイ} 鄭 雪萍(長崎大学)

「日中平和の架け橋になりたい」って、日本語学科の学生からよく聞くことがあります。架け橋になるため、外交官を目指す人は少なくないと思います。しかし、外交官のように極く少ない人しかできない架け橋になる前に、架け橋を築く石になるのもいいことではありませんか。なぜ、私がこういうことを言うのかというと、それは、長崎港で日本人のおじいさんと出会ったからです。

「こんにちは、中国の福建省から来ましたテイと申します。」

「福建省か、私は福建省に200回以上行ったことがあつとばい。あんた知つとつとね、こん付近に使われとる石は全部福建省の石ばい。」

「へえー、そうなんですか。すごいですね。」

最初私はこう答えながら、200回以上福建省に行ったとか、福建省の石が使われているとか、そんなの絶対嘘に決まっていると、心の中でこっそり思っていました。しかし、その後のおじいさんの話を聞くうちに、考え方が変わってきました。

日本最古のアーチ形の石橋である眼鏡橋は、創建後、たび重なる洪水にも流されることなく、300余年の歳月によく耐えてきました。しかし、昭和57年7月23日、長崎大水害で、その大部分が流失や損壊する被害を受けました。そこで、そのおじいさんは壊れた石橋の修復作業に参加したのです。おじいさんの話によると、長崎にある石橋群は、もともと中国の僧侶が技術指導したり、私財を提供したりして架けられてきた歴史があるということです。水害によって壊れた石橋群を、過去の歴史を大切に復元するため、彼はわざわざ長崎の姉妹都市である福建省福州市に行って、最適な石を探しました。そして、現在では、修復された石橋は、新しく中国と長崎の歴史を語り、長崎の人々に親しまれています。

そのことをきっかけに、現在の長崎は、中華街を含め、長崎港や長崎の街並みなどの道も福建省の石で整備されています。つまり、長崎と福建省、日本と中国は、新たに石で繋がって新しい歴史を作っています。もちろん、繋がっているのは石だけではありません。



ません。おじいさんは日本と中国を往復している間に、日本と中国にあるいろいろな誤解をとき、本当のことを伝えることに真剣に取り組んできました。民間の交流を通じて、日中の人々の心が繋がってきたと感じています。

そうです。国と国の間に矛盾や誤解がたくさんあるかもしれませんが、民間の文化交流と気持ちの交流には国境がないのです。交流の進展は必ず日中の平和に繋がるはずです。そして、福建の石のように、福建省出身の私も長崎にやってきました。私は、本当の日本の姿をもっと中国の人に、世界の人々に知らせていきたいと思います。そのために、まず、架け橋を築く石のような存在になればと思っています。

実は、石のような存在になる方法はもう見つかっています。それは大学1年生の時出会った沖縄の伝統芸能エイサーです。私はエイサーが大好きです。エイサーをしている時は、国の違いも言葉の違いも忘れてしまいます。将来、エイサーの立派な踊り手になって、日中の文化交流に貢献することが私の夢です。一つ一つの福建省の小さい石が長崎の橋を支えているように、平和のために努力をしている一人一人のささやかな行為の積み重ねが、必ず大きな平和の橋を架け、人々の心を繋ぐと信じています。

(原文を掲載しています。)

事業報告

第2位「長崎くんちから見る地域文化の未来」 シャオ ユェラン 邵 明朗(長崎大学)

「モッテコーイ、モッテコーイ」

皆さん、この言葉はどんな時使われるかご存知ですか。これは長崎の秋のお祭り、長崎くんちの掛け声の一つです。出し物をもう一回見たいと思った時、もう一度踊り場に持って来てほしいという意味で、「モッテコーイ」と言うそうです。

日本文化と聞いて、多くの人がパッと思いつくものは、おそらく、「茶道とか、アニメとか、ゲームとか…」ではないでしょうか。このような地域を問わない共通文化は、確かに日本文化の代表と言えるでしょう。一方で、長崎くんちのような地域文化について知っている外国人は、おそらく少ないと思います。私も日本に来る前は知りませんでした。

去年の10月、長崎くんちが開催され、見物に行きました。そのとき初めて、地元根付いた独自の文化が日本にもあるんだと気づきました。

日本人の友達から、長崎くんちが始まったのは江戸時代までさかのぼると教えてもらい、心がひかれるようになりました。その本番たるや、何と盛大なものか!「本場所」としての諏訪神社では、龍踊りを始めとする各種の出し物が行われました。大きな龍を担いだり、華やかな衣装で踊ったり、石畳の上で力強く大きな船を回したり、勇壮で豪華絢爛、そして異国情緒もあふれていました。見物客から大きな拍手が送られ、掛け声があちこちから聞こえました。それに、いかにも祭りらしく、たくさんの屋台が並び、いい匂いをまき散らしていました。このようなにぎやかな風景を見た私は、魅力あふれる長崎くんちに憧れるようになりました。

おくんちでは、子どもから大人まで出演します。そのため、およそ4か月間、毎日稽古を重ね、本番の日を迎えます。そのありったけの情熱を傾ける姿に非常に感動されます。長崎の各大学にも、伝

統的な地域文化に関わるサークルがよくあります。私のオランダ人の友達も、よさこいの部活に入っています。地元の人どこ

ろか、外国の人までも、日本の地域文化に夢中になっています。長崎では、文化を引継ぐことへの情熱が代々引き継がれているからこそ、地域文化の命がいつまでも生き生きとしているのでしょう。

今の時代は、客を呼び込むために、レジャー産業が急激に発展しています。現代感を演出する商店街や高級デパートがどんどん建てられています。若者の多くが、地域の祭りといった伝統行事に参加する代わりに、おしゃれな店で友達と食事したり買い物したりして祝日を過ごすようになっていきます。こうなると、人と地域のつながりはどんどん希薄なものになるでしょう。

私は、先達が創造し、蓄積してきた地域文化が元気に生き続けるためには、その地域に住む人々の愛着と情熱がそこに加わるのがとても大事だと考えています。これこそが、長崎が他の地域に誇れる素晴らしい点だと思うのです。

伝統的な地域文化も生き物のように年をとってしまふものであり、人の守りでしか生き続けられないのです。現在、急速に融合を進める世界文化の中で、地域文化は自らの足場を固めなければならない時期に来ていると思います。どうすれば故郷の素晴らしいさを世界や次世代に伝えられるか、そして我々の誇りを認めてもらえるか、今こそ改めて地域文化のあり方を考えるべきだと思うのです。

(原文を掲載しています。)



第3位

「皆の平和、真の平和」

ロウ レイナ
姿 麗娜
(活水女子大学)



未来賞・館長賞

「子供にとっての平和」

グ エン ティ タム
NGUYEN THI TAM
(長崎総合科学大学)



事業報告

2017グローバルギャザリング釜山

2017年5月20日(土)に韓国釜山広域市で開催された「2017グローバルギャザリング釜山」に、諫早市を中心に活動している「舞踊集団 百花繚乱」が参加されました。このイベントは、財団法人釜山広域市国際交流財団の主催で、国際交流・国際理解を目的に開催され、世界の料理や民族衣装・文化体験ブースなどが数多く並び、海外姉妹友好都市の公演などが披露されました。

🌸🎵🌸🌸🌸 2017 グローバルギャザリング釜山に参加して 🌸🎵🌸🌸🌸

舞踊集団 百花繚乱 事務局 廣瀬 靖子

私たちは「舞踊集団 百花繚乱」と申します。県央地区を中心に活動するウェルネスダンスクラブを母体として、2001年に“沢山の花が美しく咲き乱れる”というその名の通りに、私たちも各々がダンスを通じて、人生においても美しい花を咲かせたいと結成しました。“一生懸命に楽しく踊る”をモットーに、笑顔の花を皆さまに届けたいと日々活動しています。「YOSAKOIさせば祭り」や「おおむら夏越まつり」、「のんこの諫早まつり」にも、地元を盛り上げようと、様々なジャンルの曲と踊りで出演しております。「上海国際博覧会(2010年 於：上海市)」、「朝鮮通信使祭り(2011年 於：釜山市)」にも長崎県を代表して出演いたしました。

今回、「2017 グローバルギャザリング釜山」出演の打診をいただいた時は、再び貴重な経験ができることに対し、大変感謝の気持ちでいっぱいでした。その場で出演をお受けして、その日のうちに参加メンバーも決まった次第です。

2017年5月19日、長崎を出発し、福岡空港より韓国・釜山へ向かいました。会場は素晴らしい自然公園の中にあり、世界各国の紹介ブースや、舞踊を披露するステージが設置されていました。私たちは諫早に伝わる、のんこの踊り「祭りののんこ」を百花繚乱の世界観でアレンジした楽曲に乗せて演舞いたしました。15分間の演舞でしたが、爽やかに、華やかに踊れたと思います。私たちの思いも伝わったようで、観客の皆さんがとても喜んでくれたのが印象的でした。演舞が終わると、メンバーと一緒に各国のブースを巡り、様々な国の方との交流を楽しみました。

その他、韓国に伝わる布工芸を紹介する博物館や、甘川文化村などを見学し、韓国の文化や歴史に触れる貴重な経験をさせていただきました。

(公財)長崎県国際交流協会様、関係諸団体様には大変お世話になり感謝いたします。本当にありがとうございました。



ダイナミックな踊りで観客を魅了!



百花繚乱の皆さん

2017年度釜山-日本姉妹友好都市大学生インターンシップ交流事業

2017年7月3日(月)～14日(金)の12日間、釜山から3名のインターンシップ生が長崎にやってきました。釜慶大学で日本語と日本文学を学ぶ、金世璠さんと全玲賢さん、同じく釜慶大学で新聞放送学を学ぶ鄭炫奎さんです。金世璠さんは長崎放送株式会社(NBC)で、全玲賢さんは一般社団法人長崎県観光連盟で、鄭炫奎さんは当協会、それぞれの職業体験をしました。

オリエンテーション



自己紹介をする金世璠さん(左)、全玲賢さん(中)、鄭炫奎さん(右)



長崎県について勉強しています

配属先での職業体験

キム セリン
金世璘さん

長崎放送株式会社 (NBC)



夕方のニュース「Nスタプラス長崎」にも出演しました。

浴衣でのインタビューにも挑戦！



県内視察

雲仙市の雲仙地獄に大興奮！



島原市でのかんざし体験



チョンヨンヒョン
全 玲賢さん

(一社)長崎県観光連盟

長崎県のキャラクター「がんばくん」とも一緒に仕事をしました。



翻訳作業も経験しました！



出島での着物体験

チョンヒョンギョ
鄭 炫奎さん

(公財)長崎県国際交流協会



協会の国際交流事業について学びました。



「CIRと話を！」で県民の皆さんと韓国語で交流しました！

最終日の報告会では皆さんから「配属先の方々がとても親切で、有意義で貴重な経験をすることができた。」との嬉しい報告がありました。

今後、長崎と韓国・釜山との友好の懸け橋となることを期待しています！

釜山のテコンドーチームが「2017ながさきみなとまつり」に出演

当協会は韓国の釜山広域市にある財団法人釜山広域市国際交流財団と友好交流協定を締結しています。今回、釜山のテコンドーチームを長崎に招待し、「2017 ながさきみなとまつり」のダンスコーナーに出演いただきました。人気の K-POP ミュージックなどに乗せた本場のテコンドーダンスは大好評で、多くの観客の方が惹きつけられていました。

2017年7月29日(土)に、韓国・釜山から中学・高校生を中心とした総勢13名の「アリラン モッ テコンドー示範団」の皆さんが来県されました。同日夕方の「2017ながさきみなとまつり」での演舞披露に向け、長崎に到着後、リハーサルを終え、いよいよ本番！20分間のステージでは、K-POPミュージックなどに乗せた華麗な足技・手技や、板割りのパフォーマンスが披露されました。テコンドー示範団による公演は、日本ではあまり馴染みがない方も多いかと思いますが、本場韓国の大迫力の演舞に客席からの拍手と歓声が止まらず、あっという間の20分間でした。観客の方からは「とても見応えがあった。」、「カッコよかった。」、「来年もまた来て欲しい。」との声が上がっていました。無事に本番を終えた後の夜は、音楽とレーザーによる花火大会を鑑賞し長崎の1日目を終了しました。

2日目は、「長崎県テコンドー協会」の皆さん10名(小・中・高校生ほか)と交流会を開催しました。お互いに演舞を披露したり、日韓合同練習をしたりと、テコンドーの技術向上はもちろんですが、テコンドーというスポーツを通じた日韓の国際交流となりました。夕食後は世界新三大夜景に選ばれた稲佐山から夜景を鑑賞しました。

「アリラン モッ テコンドー示範団」の皆さん、本当にありがとうございました！また長崎に来てください！



大迫力のパフォーマンス！



テコンドーを通じた日韓の国際交流



「アリラン モッ テコンドー示範団」の皆さん

事業報告

学ぼう! 遊ぼう! 世界体験旅行!

2017年7月27日開催
(於: 出島交流会館)

今年もたくさんの子供たちが参加したこの青少年国際理解講座は、県内の国際交流員や在住外国人の皆さんに自国の文化や遊び、言語などを紹介していただくものです。今回は、中国、イタリア、スペイン、イギリスの方々が講師となり、講座を盛り上げてくれました。手作りのパスポートを持って、様々な異文化に出会う旅に出かけた子供たちの様子をお伝えします。

イタリアの食べ物と言えば、パスタやピザが有名ですが、パスタの種類が300種類以上あることに子供たちはとても驚いていました。飽きることなく、毎日美味しく食べるために種類が増えたそうです。イギリスでは、サッカーのことをフットボール (Football) と言うことや、野球の原型と言われているクリケット (Cricket) や、女性限定スポーツとして誕生したネットボール (Netball) など、日本ではあまり知られていない、たくさんのスポーツがあることを学びました。

このほか、子供たちは中国、スペインのブースでも熱心にメモをとりながら、楽しく異文化を学んでいました。



中国ブース



スペインブース



イタリアブース



イギリスブース

これから開催されるイベントのお知らせ

「第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル」

開催日時: 2017年10月29日(日) 10:00 ~ 15:00

会 場: 出島交流会館 (長崎市出島町 2-11) 長崎県美術館となり

フェスティバルの最新情報をご紹介します! 当日は 33 団体が出展します。クイズもあるので楽しみに♪

日本文化を体験しよう!

着物を着て (洋服の上から着ることが出来ます)、茶道を体験してみませんか? 簡単に作法を学ぶことができますので、外国人はもちろん、日本人にも貴重な機会になること間違いなし!



Let's 外国 Go !

学校等で働く海外からの JET 青年と外国語でのおしゃべりやロールプレイ、外国の文化体験等を通じて、交流しませんか? たくさんの素敵な出会いが、あなたをお待ちしています!

外国の食事を味わおう!

ネパールのチョウメン (焼きそば)、ベトナムのフォーと揚げ春巻き、フェアトレードの食品などを販売します。世界の食文化に触れるチャンスですので、売り切れる前にどうぞ!



お手伝いをしてくださるボランティアを募集しています。詳しくは 8 ページをご覧ください!

JICAデスク長崎からのお知らせ

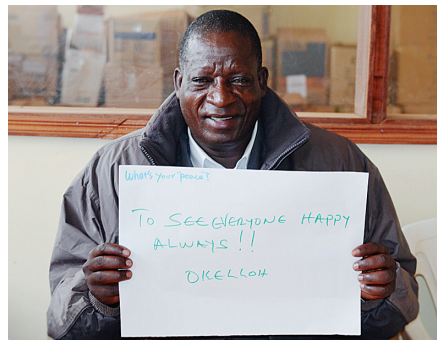


長崎発◆あなたにとって平和って何ですか？ 「世界のみんなの What's Your Peace?」写真展

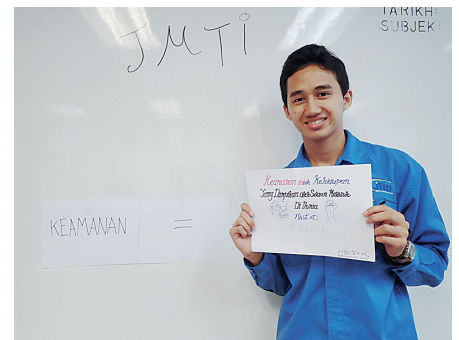
JICAデスク長崎では、長崎発の平和を考える企画として「世界のみんなの What's Your Peace?」写真展を2017年3月18日(土)～26日(日)に長崎市で開催しました。これは、世界の様々な国で活動しているJICAボランティアが、現地の方に「あなたにとって平和って何ですか？」と質問し、その答えと一緒に写真に写ってもらうというものです。今年は世界22か国、400人の方々からの答えが届きましたので、その一部をご紹介します。



家 族
(ケニア)



みんなの幸せそうな様子を見ること
(ケニア)



みんなが夢を持つことができる人生
(マレーシア)



お互い素直になること
(パプアニューギニア)



私+あなた=平和
(マーシャル諸島)



友 情
(フィジー)



違いを尊重すること
(コスタリカ)



世界中の人々が心の底から笑えること
(グアテマラ)



良いもの、平穏、そして愛！
(ブラジル)

現在、写真展は長崎県外にて巡回展示中です。長崎県での開催が決まりましたら、改めてご案内させていただきます。

【HP】 <https://www.jica.go.jp/kyushu/event/index.html> 【Facebook】 <https://www.facebook.com/jicakyushu/>

協会からのお知らせ

第19回ながさき国際協力・交流フェスティバル 当日ボランティア募集中！

フェスティバルのお手伝いをしてくださる方を募集します。外国人の方も、日本人の方もウェルカムです！
興味のある方は、ホームページをチェックしてください。お待ちしております！

お問い合わせ先：(公財)長崎県国際交流協会
【TEL】095-823-3931 【E-mail】nia@nia.or.jp 【HP】<http://www.nia.or.jp>

協会から助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～3つのサポート～

募集期間 随 時

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。
- ※ 対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出しませんか？



スポーツ交流



初めての国際交流

2 中国・韓国との交流支援 ～上海市または釜山広域市の民間団体との交流を応援！～

- ・上海市、釜山広域市で団体同士の《出会いの場》を設け、交流相手の団体を紹介します。
- ※ 《出会いの場》の会場や通訳などは、協会が用意します。
- ※ 参加にかかる費用（渡航費・宿泊費・飲食費など）は自己負担です。

新たな交流を
探しに行きませんか？



異文化交流

3 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行うあなたを応援！～

- ・上限10万円で対象経費（講師などの謝礼、交通費、会場使用料など）の1/2以内を助成します。

未長い交流をしませんか？



スポーツ交流



華道で文化交流

お問い合わせ先：(公財)長崎県国際交流協会

【TEL】095-823-3931 【E-mail】nia@nia.or.jp 【HP】<http://www.nia.or.jp>